

## (資料3) 帯広市公営企業経営審議会 意見等について

【令和元年6月4日】

委員名	関連資料	意見等の概要	意見等に対する帯広市上下水道部の考え方・対応
石田 委員	資料1 策定の趣旨と位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画期間</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ 10年間という長い年月だと、その間で色々な変化もあると思われる。5、6年といった短い期間のビジョンを策定してはいかがか。</p>	<p>10年間の中長期的な視点に立ったビジョンを策定させていただき、経営状況の著しい変化や自然災害などによって、本ビジョンに大きな影響が生じた場合には、必要に応じて見直しを行います。 (「計画期間」にその旨記載予定)</p>
鈴木 委員	資料1-1 おびひろ上下水道ビジョン2010概要版	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際協力の推進</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ 取り組みを推進してほしい。</p>	<p>国際協力の推進については、今後とも上下水道事業の運営で培ってきた経験・技術を活かし、JICA（独立行政法人国際協力機構）と連携した水道・下水道に関わる研修の実施などを進めてまいります。 (「実施施策12 学習機会の充実」に記載)</p>
鈴木 委員	資料1-1 おびひろ上下水道ビジョン2010概要版	<ul style="list-style-type: none"> <li>大口地下水利用者への対応</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ どういった対応をとっているのか。</p>	<p>給水契約をしながら地下水を主に利用している事業者に対し、建設投資分のコストを回収するため、平成24年度にバックアップ料金制度を導入しています。</p>
増田 委員	資料2 策定スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指すべき方向と目標設定</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ 「おびひろ上下水道ビジョン2010」の検証を示してほしい。</p>	<p>7月22日の審議会において、審議いただく予定となっています。</p>
耕野 委員	資料3 上下水道事業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用水量及び料金収入</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ 新たなビジョンを策定するにあたっては、今後のシミュレーション等を行って、収支計画を作成していく予定なのか。</p>	<p>使用水量及び料金収入については、人口の動向などを参考にしながら、今後10年間のシミュレーションを行い、それを基に収支計画を作成のうえ、8月22日の審議会において、審議いただく予定となっています。</p>

## (資料3) 帯広市公営企業経営審議会 意見等について

【令和元年6月4日】

委員名	関連資料	意見等の概要	意見等に対する帯広市上下水道部の考え方・対応
増田 委員	資料3 上下水道事業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震対策</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ 水道施設の耐震化について、全国平均と比べて進捗の状況はどうなっているか。</p>	<p>平成29年度末のデータでは、全国平均を上回っており、今後とも取り組みを進めてまいります。 （「実施施策5 施設の耐震化の推進」に記載）</p>
宮本 委員	資料3 上下水道事業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成と技術の継承</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ 現在はどのような形で、人材育成や技術の継承を行っているのか。</p>	<p>技術継承部会を作り、新しい技術を学ぶための外部研修への参加、それを身につけた職員による部内に広めるための研修などを行なっています。 また、定年退職した職員を再任用し、その再任用職員から若手職員への技術の継承も行っています。 （「実施施策14 効率的な組織づくりと人材育成の推進」に記載）</p>
石山 委員	資料3 上下水道事業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成と技術の継承</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ 水道の民営化について、水道は命にかかわる最も重要なインフラであるので、運営権だけは民営化してはならないと考えている。 帯広市としての現時点での考えは。</p>	<p>帯広市では上下水道ビジョンに基づき、計画的に企業経営を行っており、一定の利益を確保していることから、現時点では運営権を民間企業に委ねるという考えはありません。 給水人口の減少に伴う収入の減少などが見込まれるため、将来的には部分的な委託などを研究・検討する必要があると考えています。 （「実施施策17 経営効率化の推進」に記載）</p>
耕野 委員	資料3 上下水道事業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成と技術の継承</li> </ul> <p>＜意見等の内容＞ 職員数に関連して、必要な職員数の目安などはあるのか。</p>	<p>人口規模で他の市町村と職員数を比較することなどはできませんが、明確な基準はありません。 これまで、業務の簡素化を行うなど、時代に合った仕事のやり方で、採算ベースを見ながら効率的・効果的な業務を行ってきており、今後とも取り組みを進めてまいります。 （「実施施策17 経営効率化の推進」に記載）</p>